



福津市議会議員



石田まなみ NEWS No.013

討議資料

発行日：2022年11月1日
発行：石田まなみ後援会
福津市東福岡3-2-1
☎0940-72-5188



2021(令和3)年度 決算について

2021(令和3)年の一般会計の歳入決算額は304億3679万7000円、歳出決算額は295億8386万4000円でした。

歳入の市税では、人口増加に伴った個人市民税の前年比1.5%の増加、法人市民税は、コロナ禍で悪化していた法人の業績回復によって法人税割が増加した一方で、固定資産税はコロナ禍による減免などによるものなど、それぞれの項目での増減がありますが、市税の総額としては前年度比0.3%増でした。歳入の中でもふるさと納税受入額の伸びによる寄付額の増加については、担当部署のPRなどの努力にもよりますが、返礼品やそれに関する事務費などの経費もかかります。また他の自治体でも懸念されていますが、市民が他

の自治体に寄付することによって市税が減少することもありますので、冷静な判断も必要です。

特別会計の中でも、特に気になるのが国民健康保険税事業特別会計です。

歳入67億7968万7000円、歳出66億9327万3000円と黒字決算となりました。また不能欠損額（市税などで徴収の見通しが立たないなどの理由で未収金から除く額のこと）は前年に比べると少なくなってきていますが、そもそも国民健康保険税そのものが高い、コロナ禍での生活困窮などが影響しているなど、原因を考える必要があります。

後期高齢者医療事業特別会計も同様に気になります。

歳入は11億1569万9000円、歳出は11億843万9000円とこちらも黒字決算となっていますが、今年の10月から後期高齢者医療費の窓口負担が変更になり、1割負担から2割に増える方もいます。

この2つの事業から、今後、受診控えが増えて、病気発見の遅れが心配されます。

市でも医療費の支出を抑える取り組みや生活習慣病の予防や健康維持の啓発などに力を入れていますが、国レベルの根本的な対処が必要ではないでしょうか。



2022(令和4)年度補正予算について

コロナ感染対策としての2つの事業に注目します

1 庁舎改修工事 6819万6000円
本館1階の中庭の外壁改修、植栽を撤去、出入り口を設けてオープンスペース（待合スペース）を作る。

「中庭を改装して、待合スペースに」というのは、6月議会の一般質問で私が提案した案件の1つです。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使つての事業ということですが、もともと中庭の部分には屋根がなく、この屋根をつけるための工事には至っておらず、オープンスペースができて、天候によって使える日数には限りがあります。「全天候型対応になるよう、来年度以降も考えていく。」と説明がありましたので、今後も注視していきます。

トイレ洋式化工事

1114万3000円

2 市役所内14か所全て、ふくとぴあ14か所のうち10か所を洋式化（和式を利用したいという意見もあるので一部残す）

今回は市役所とふくとぴあだけの工事になりますが、台風や大雨の際に、自主避難所として活用している「福津市中央公民館」は工事の対象外です。避難所として活用しているからこそ工事が必要じゃないのか、と担当課に話をしています。こちらも今後の動きを確認していきます。

発議第5号「教育予算の拡充を求める意見書(案)」を提出しました。

日本の将来を担い、安全で安心な社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は、きわめて重要です。

学校現場では、新しい学習指導要領により、様々な支援を必要とする子どもたちへの対応、いじめ、不登校など解決すべき課題が山積しています。また子どもたちの豊かな学びを実現するための教材研究や授業準備に必要な時間の確保、生徒指導や進路指導などに対応する十分な時間確保が困難な状況となっています。

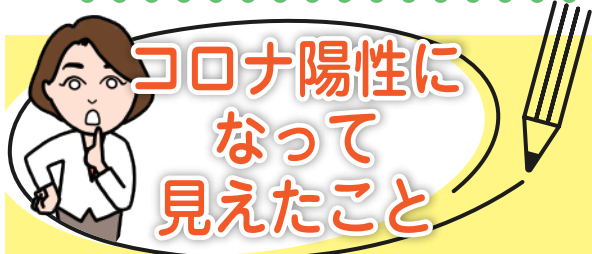
福津市の教育現場においても、教職員の数は、加配職員などを含めた状態で、数字上はおおむね足りている状況ですが、病欠やコロナ感染で

職員が休むことになると、その授業をほかの教員が補います。

小学校は基本的に1人の教員が全教科を教えますが、中学校は教科担任制なので、同じ教科担当の職員でないと補うことは難しいです。

これからもコロナ感染は続くことを考えても、日常から余裕がある人員配置が必要ではないでしょうか。

8名の議員の賛同を得て意見書を発議として提出、本会議にて全会一致(全員賛成)で可決されました。



SNSでは軽症だったという投稿をよく見ていましたが、後遺症に苦しむ方も周りにはいます。今は感染者数も少なくなりましたが、これから先、またこのような状況になっても十分な対応ができるよう、経験者の1人としても、国に求めていきたいと思えます。

8月9日に発熱、10日にかかりつけ医で陽性と診断されました。

その後、11日に保健所からの連絡、12日にはMY HER-SYSという療養証明に必要な管理番号がショートメールで届きました。

知り合いの中には、**総合病院で1時間以上かけて発熱外来を受け、保健所からの連絡も3~4日かかった**という方もいました。

福津市の支援策は、①世帯全員が陽性になった場合で保健所から自宅療養を指示された②自宅療養中、親族や知人などによる支援を受けることが難しい人という2つの条件を満たした場合、担当課に申請することで1人あたり2日分の食料と日用品が届けられます。(ただし、福岡県の支援を受けている方は対象外です)

このような支援を受けたくても、保健所からの連絡が遅くなると支援も受けられず、また一人暮らしで回りに知り合いがない方などは、命の危機にさらされる状況でした。その他にも熱で意識が朦朧としている状況の中、県のHPなどで発熱外来をしている医療機関の一覧(字が小さくて見えづらかった)を見たり、MY HER-SYSを専用サイトに入力したりという作業はしづらかったです。

次の12月議会が、一期四年間の議員活動の中で最後の議会になります。

2019年1月から始まった議員活動、長いようであっという間の4年間でした。いよいよ一期目の締めくくりの議会を迎えます。ぜひとも直接議会での傍聴、オンラインでの議会中継、または後日配信される録画配信をご覧ください。



オンライン中継、録画配信についてはコチラ
<http://www.city.fukutsu.lg.jp/soshiki/giji/gikai/5/6716.html>



fight



石田まなみさんを、私も応援しています。
 社民党 党首 福島みずほ